

R I M A G E[®]

Rimage Producer™ P-IV ユーザー ガイド 8200N、7200N および 6200N/6200



本社:	ヨーロッパ本社:	アジア/太平洋本社:
Rimage Corporation	Rimage Europe GmbH	リマージュジャパン株式会社
201 General Mills Blvd,	Albert-Einstein-Str.26	2F., WIND ビル
Golden Valley, MN 55427,	63128 Dietzenbach	東京都港区六本木 7-4-8
USA	Germany	WIND ビル 2F.
+1-800-553-8312 (北アメリカ)	電話:+49 6074-8521-14	電話:+81-3-5771-7181
サービス:+1 952-946-0004 (メキシコ/南米)	ファックス:+49 6074-8521-100	ファックス:+81-3-5771-7185
ファックス:+1 952-944-6956		

Rimage Corporation は、本書に記載されている機器およびソフトウェアを予告なしに改訂する権利を所有しています。Rimage Corporation は、あらゆる個人または組織に通知する義務なく、本書を改訂または記載内容を随時改訂する権利を所有します。

このドキュメントには、発行時に有効であった Web サイトへのリンクが含まれていますが、現在そのサイトが移動している、または無効である場合があります。本書には、第三者によって所有および運営されているインターネット上のサイトへのリンクが記載されている場合もあります。Rimage Corporation は、第三者のサイトの内容に関しては、責任を負いかねます。

©2020, Rimage Corporation

Rimage® は、Rimage Corporation の登録商標です。Professional™ および Everest™ は、Rimage Corporation の商標です。Dell™ は、Dell Computer Corporation の商標です。FireWire™ は、Apple Computer, Inc. の商標です。Windows® は、Microsoft Corporation の登録商標です。

他のすべての商標および登録商標は、それぞれの所有者の財産です。

本ドキュメントの最新版は www.rimage.com/support から入手できます。

目次

概要	1	Producer IV の操作	11
本ユーザー ガイドについて	1	Producer IV のメンテナンス	12
Producer について	1	概要	12
開梱およびセットアップ取扱説明書	1	注意事項	12
重要情報	2	予防メンテナンス スケジュール	12
サポート連絡先	2	診断テスト	12
オンラインでご覧いただける詳細情報	2	Gemini ユーティリティの操作	13
テクニカル サポート	2	Gemini ユーティリティの開始	13
光ディスク記録ソフトウェアの免責条項	2	オートローダの表示名の変更	13
安全性および法令順守に関する情報	3	警報器を有効にする	13
安全のための予防措置	3		
Producer IV の部品の確認	5		
正面図	5		
Producer IV の部品の確認	6		
Everest を含む背面図	6		
Producer IV の部品の確認	7		
Prism を含む背面図	7		
Producer IV の部品の確認	8		
部品情報	8		
DiscWatch 状態表示ランプ	8		
オペレータ パネル	8		
オペレータ ボタン	8		
ディスク ディスペンサ	8		
警報器	8		
Producer IV の操作	9		
Producer IV の電源オン	9		
Producer IV の電源オフ	9		
Producer IV の一時停止	9		
Producer IV の操作	10		
回転トレイの設置	10		
回転トレイの取り外し	10		
ディスクの装着	10		
ディスクを取り出します	11		
印刷環境設定	11		

概要

本マニュアルは、Rimage Producer 8200N、7200N、6200N および 6200 の操作および設定、メンテナンスに必要な事項を説明しています。本マニュアルで、「システム」および「オートローダー」という語は Producer 製品を意味しています。「プリンタ」という語は Everest 600 または Prism III プリンタを意味しています。

Producer に固有の情報については、『Rimage Producer IV User Guide (Rimage Producer™ P-IV ユーザーガイド)』(www.rimage.com/support) を参照してください。[Support (サポート)] ページで:[Producer Series (Producer シリーズ)] > [製品名] > [User Manuals (ユーザーマニュアル)] の順にタブを選択します。

重要!お使いの Rimage システムは、本ユーザーガイドに記載されたモデルとは外観が異なる場合があります。

本ユーザーガイドについて

- 当社ではすべてのバージョンのマニュアルおよび説明書を保存するように努めていますが、当社ウェブサイトで閲覧できる英語バージョンでは常に最新の情報を提供しています。
- 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 7 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、情報のタイプに応じて以下の記号が使用されています。

注記:「注記」には補足情報や特殊な事例に限定して適用できる情報が提供されます。たとえば、特定のバージョンのプログラムに適用するようなメモリ制限や機器の設定、詳細情報は「注記」に記載されます。

ヒント:あまり知られていない別の方法が示され、本製品の利点や機能の理解に役立つ情報が記載されています。

重要!

- 「重要!」には、タスクの完了に欠かせない情報が提供されます。
- 重要な追加情報。
- 「ヒント」の情報を読まなくてもタスクを完了できますが、「重要!」の記載は必ず読むようにしてください。

注意:「注意」は、記載されたガイドラインの順守を怠る場合、機器または製品、ソフトウェア、データに損失または損傷が生じる恐れがあることを示します。

警告!「警告」は、記載されたガイドラインの順守を怠る場合、機器の操作または保守担当者に身体的傷害が生じる恐れがあることを示します。

Producer について

Producer IV は、Everest 600 プリンタまたは Prism III プリンタのどちらでもご利用できます。プリンタの詳細については、プリンタに同梱されている『セットアップおよびインストールガイド』または『ユーザーガイド』を参照してください。

Producer 6200N、7200N、8200N オートローダーには、コントロールセンター (PC) が内蔵されています。内蔵 PC は、ネットワーク対応デバイスで、ネットワークに接続された他のコンピュータからオーダーを受信します。Producer 6200N、7200N、8200N は、モニタおよびマウス、キーボードを接続するとローカルでも操作可能です。

Producer 6200 には、外部のコントロールセンターとして使用する外付け PC が必要です。ほとんどの場合、Producer 6200 オートローダーには外付け PC が標準装備されていません。外部のコントロールセンターとして使用する PC を準備することが必要です。6200 で使用する PC の最低要件および最適要件については、Producer の仕様を参照してください。本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/support を参照ください。[Support (サポート)] ページで:[Producer Series (Producer シリーズ)] > [製品名] > [User Manuals (ユーザーマニュアル)] の順にタブを選択します。

ネットワークのセットアップ方法、およびネットワークに接続した PC からオーダーを送信する方法については、www.rimage.com/support の『Rimage Advanced Setup (Networking) Guide (Rimage アドバンスドセットアップ (ネットワーク) ガイド)』を参照してください。

開梱およびセットアップ取扱説明書

Producer IV を開梱するには、梱包箱に貼付の開梱法についてのラベルを参照してください。セットアップの手順については、製品に同梱の『セットアップおよびインストールガイド』を参照してください。

重要情報

本セクションでは、Producer IV に関し、サポートのための問い合わせ先および注意や警告、製品仕様について説明します。

本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/supportを参照ください。**[Support (サポート)]** ページで:**[Producer Series (Producer シリーズ)]** > **[製品名]** > **[User Manuals (ユーザー マニュアル)]** の順にタブを選択します。

サポート連絡先

米国、カナダ、南米	
Rimage Corporation 201 General Mills Blvd, Golden Valley, MN 55427 USA Attn:Rimage Services	電子メール: support@rimage.com 電話: 北米:800-553-8312 メキシコ/南米:952-944-8144 ファックス: 952-944-7808
ヨーロッパ	
Rimage Europe GmbH Albert-Einstein-Str.26 63128 Dietzenbach Germany	電子メール: support@rimage.de 電話: +49 6074-8521-14 ファックス: +49 6074-8521-100
アジア/太平洋	
リマージュジャパン株式会社 2F., WIND ビル 東京都港区六本木 7-4-8 WIND ビル 2F.	電子メール: apsupport@rimage.co.jp 電話: +81-3-5771-7181 ファックス: +81-3-5771-7185

Rimage Services 連絡先:	
ウェブサイト: www.rimage.com/support ナレッジ ベース: www.rimage.custhelp.com ログインして、 [Ask a Question (質問する)] タブを選択	
Rimage サービスにお問い合わせになる際は、以下の情報をご用意ください。 <ul style="list-style-type: none">システムのシリアル番号とソフトウェアのバージョンエラーの機能的および技術的説明表示された正確なエラー メッセージ	将来参照するために Rimage 製品に記載された次の情報を書き留めておいてください。 注記: 製品を交換した場合は、必ずシリアル番号を更新してください。 シリアル番号: 製品名: ご購入日:

オンラインでご覧いただける詳細情報

www.rimage.com/support で、Rimage の世界でトップレベルのサポートとサービスを受けることができます。

[Support (サポート)] ページから、 <ol style="list-style-type: none">ご使用の製品シリーズを選択します。ご使用の製品を選択します。製品ページで詳細をご覧ください。	製品ページから、以下の情報にアクセスすることができます。 <ul style="list-style-type: none">ソフトウェアおよびファームウェアの最新情報製品仕様最新ドキュメント最新のファームウェアおよびドライバのダウンロード
--	---

テクニカル サポート

Rimage では、翌営業日に現地サポートを実施、交換サービス、ソフトウェア サブスクリプションおよびサポートなど、様々な Producer IV に関するサービスおよびサポート オプションを提供しています。詳細情報および価格については、Rimage の付加価値再販業者や Rimage 社までお尋ねください。

重要!1年間の部品および作業のサポートおよび、優先電話サポートが受けられるように、ご購入のオートローダを登録してください。登録は、<http://www.rimage.com/support/warranty-registration> から行えます。

光ディスク記録ソフトウェアの免責条項

本製品、ソフトウェアおよび説明書は、著作権の所有者もしくは著作権者から書面によるコピーの許可を受けている場合、複製することができます。使用者が著作権を所有する、もしくは、著作権者から複製の許可を取得していない限り、使用者には、著作権法違反ならびに損害賠償および他の賠償の支払いが課せられる恐れがあります。ご自身の権利に関して不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。使用者が著作権を所有せず、また著作権所有者からの許可も得ていない場合、光ディスク、その他のメディア上の著作権のあるマテリアルを無断で複製することは国内および国際上の法令を侵害することになり、厳しい処罰が科せられることとなります。

安全性および法令順守に関する情報

本マニュアルおよび製品に関する指示により、適切で安全な操作が可能になります。以下の表示マークは、ユーザーならびに他の人の身体的傷害および機器損傷の防止を支援します。

安全のための予防措置

安全の確保のため、以下の注意事項をよくお読みになり、内容をご理解された上で機器をご使用ください。

警告!

- CD/DVD レコーダーのレーザー ビームには、クラス 1 レーザーが使用されています。レコーダーを開けないでください。すべてのサービス手順は、担当技術者が実施する必要があります。
- バーコード スキャナのレーザー ビームには、クラス 2 レーザーが使用されており、目を損傷する恐れがあります。スキャナを開けようとししないでください。すべてのサービス手順は、担当技術者が実施する必要があります。
- 本書に規定されている以外の方法で、制御または調整機能を使用したり、処置を実施したりすると、有害な放射露光が生じる恐れがあります。
- 本機と光学機器を併用しないでください。併用すると、目を損傷する危険性が大幅に増加します。

注意:

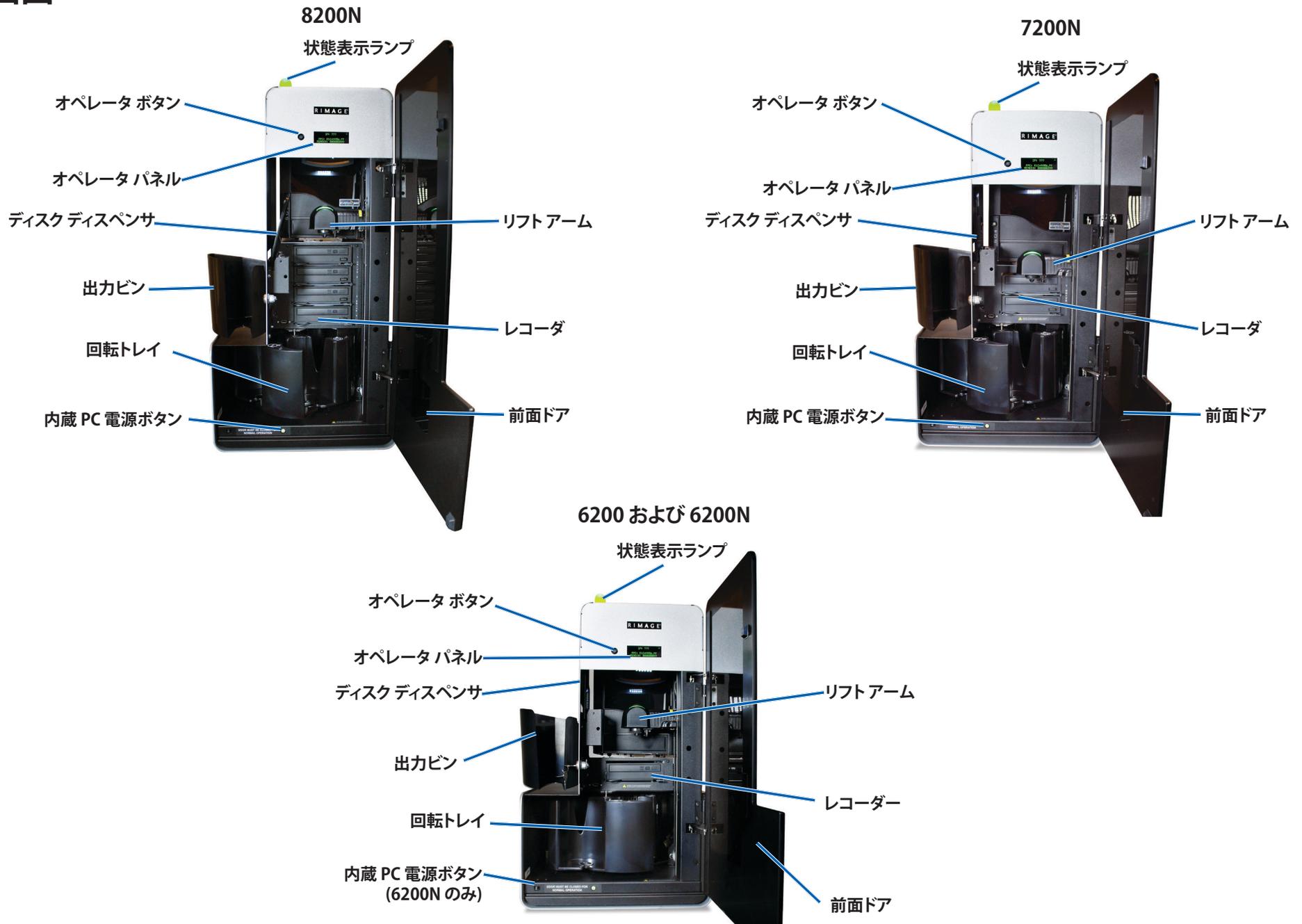
- 火災の危険に対する継続的な保護のために、交換するヒューズは、同一の種類および定格のものだけにしてください。すべてのサービス手順は、担当技術者が実施する必要があります。
- 同梱の交流電源コードのみ、または、標準規格の電源コードをご使用ください。北米以外でご利用になる場合、各地域の標準規格電源コードの選択においてサポートが必要な場合は、最寄の Rimage にお問い合わせください。
- 本製品はオフィス用機器として設計されています。
- Professional 6200N、7200N および 8200N ではリチウム電池を使用しています。リチウム電池を不適当な電池と交換すると爆発する危険があります。古い電池は電池のパッケージに記載された製造業者の指示に従って廃棄してください。

重要情報

製品	Producer 製品	モデル
	Producer 6200	RAS29
	Producer 6200N	RAS29E
	Producer 7200N	RAS30E
	Producer 8200N	RAS31E
米国における注意	<p>注記:本機は、FCC 規則の第 15 章に基づき試験後、A クラスのデジタルデバイスの制限に適合すると判断されています。これらの制限は、本機が商業環境において操作される場合、有害な妨害に対して妥当な保護を提供することを目的としています。本機は、電磁波を発生、使用し、放射することがあり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域で本機を動作させると、ユーザーが、自費で修正を要求される有害な妨害を引き起こす恐れがあります。</p> <p>本製品は、UL 規則 60950-1 第 2 版に適合します。</p>	
カナダにおける注意	<p>本 A クラスデジタル装置は、カナダの ICES-003 公布 4:2004 に適合します。Cet appareil numerique de la classe A est conforme a la norme NMB-003 du Canada.</p> <p>本製品は、CAN/CSA-C22.2 No.60950-1-07 第 1 版 に適合します。</p>	
ヨーロッパにおける注意	<p>本製品は、以下のヨーロッパ標準に準拠する、EMC 指令 (89/336/EEC) および低電圧指令 (73/23/EEC) に適合します。EN 55022: 2010/AC: 2011 Class A Limit; EN 55024: 2010; EN 61000-3-2:2006+A1:2009+A2:2009; EN 61000-3-3:2008; EN 60950-1: 2006/ A11:2009.CE マークは、CE Marking Directive 93/68/EEC に従って貼られています。</p>	
日本における注意	<p>情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づく A クラス製品です。本機器は、家庭環境で使用すると電波妨害が発生する恐れがあります。この場合、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。</p> <p>翻訳:</p> <p>本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (V C C I) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。</p> <p>この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。</p> <p>この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。</p>	
オーストラリアにおける注意	<p>本製品は、AS/NZS CISPR22:2009 に適合します。</p>	
韓国における注意	<p>前述の機器は、電気通信基本法および電波法に基づき認定されています。</p> <p>위 기기는 전기통신기본법, 전파법 에 따라 인증되었음을 증명 합니다.</p>	

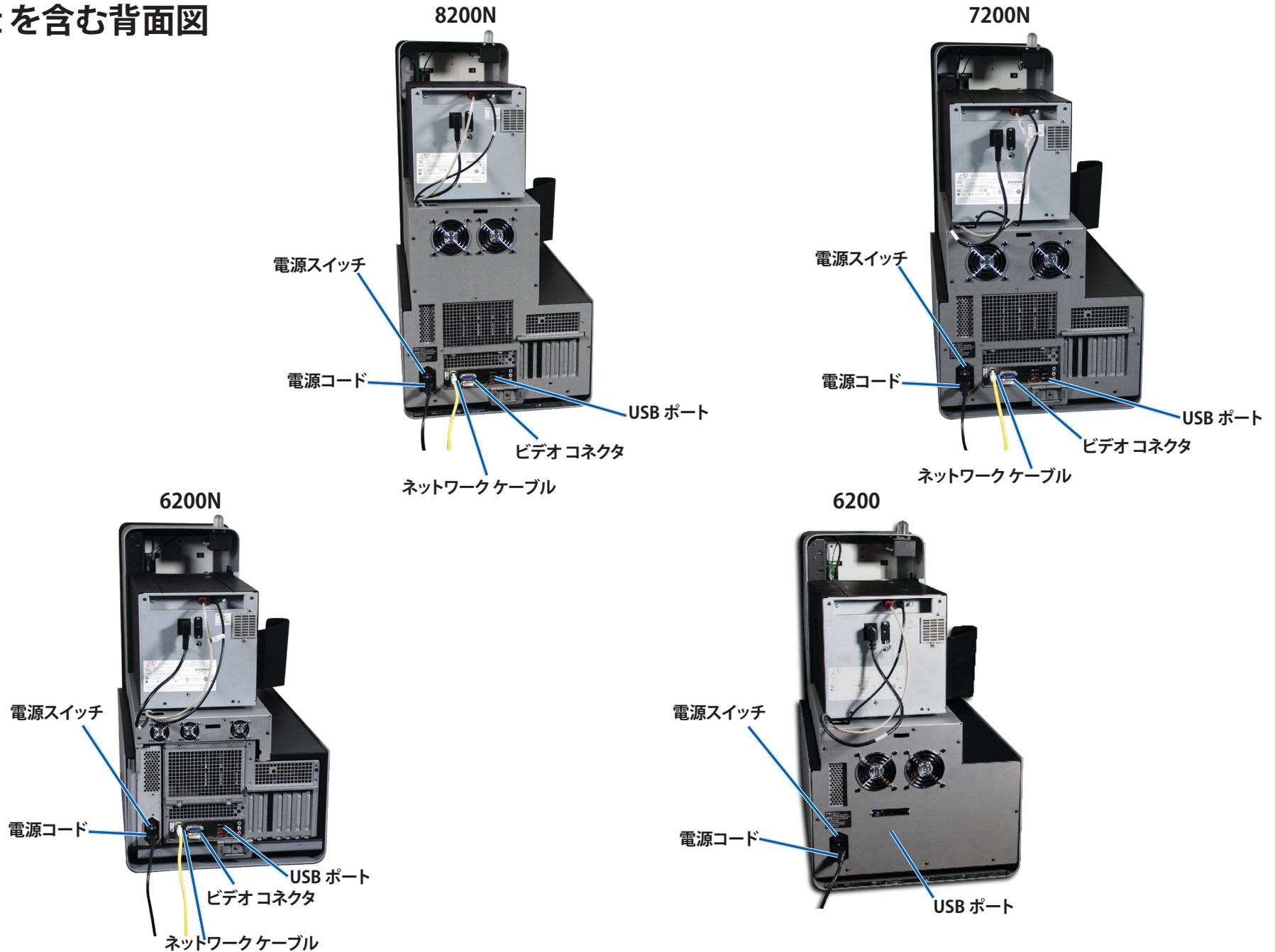
Producer IV の部品の確認

正面図



Producer IV の部品の確認

Everest を含む背面図



Producer IV の部品の確認

Prism を含む背面図



Producer IV の部品の確認

部品情報

DiscWatch 状態表示ランプ

Producer IV には、さまざまな状態を表示する内蔵の状態表示ランプが装備されています。下表で、状態表示ランプの状態が示され、各状態によって示される状態が説明されています。

ランプの状態	システムの状態
 緑色ライト点灯	システムは正常に動作しています。現在、処理中のジョブはありません。
 緑色ライト点滅	システムは正常に動作しています。現在、ジョブの処理中です。
 黄色ランプ点灯	オートローダーは、ソフトウェアの起動を待機中です。
 黄色ランプ点滅	前面ドアが開いている可能性があります。前面ドアを閉めて、ジョブを進行させます。
 赤色ランプ点灯	回転トレイのブランク ディスクがなくなっています。供給ビンに適切な種類のメディアを入れます。 システム エラーで、オペレータの操作が必要です。クライアントワークステーションまたはコントロールセンターのメッセージを確認します。 回転トレイがないなど、起動時の機器エラー。クライアントワークステーションまたはコントロールセンターのメッセージを確認します。

オペレータ パネル

オペレータ パネルは、消耗品の状態も含めて、オペレータの介入を必要とする操作または条件を知らせる、4 行のディスプレイが付いています。4 行のディスプレイの内容:

- 行 1: システム名
- 行 2: ITS (転写リボン) カウントおよび CMY リボンのカウント
- 行 3: ビン設定
- 行 4: 各ビンのディスクの品質

初期設定の終了後は、Producer IV に内蔵されている PC の名前を表示します。詳細を確認するには、13 ページの「Gemini ユーティリティの操作」のセクションを参照してください。

ヒント: オペレータ パネルの右上隅に表示されるキャレット記号「^」は、Rimage ソフトウェアがオートローダーと通信中であることを示します。

オペレータ ボタン

オペレータ ボタンを操作するには、前面ドアを開きます。オペレータ ボタンを押して回転トレイを回転させ、ディスクの装着や取り外しができるようにビンの位置を合わせてください。オペレータ ボタンを 1 回押すと、回転トレイは次のビンまで回転します。

ヒント: オートローダーが初期設定を完了した後、回転トレイはビンまで回転します。

ディスク ディスペンサ

ディスク ディスペンサは、ディスクを出力ビンに入れます。

警報器

Producer IV には警報器があり、ユーザーの対応が必要な場合に音を出して知らせます。オペレータ パネルまたは PC のモニタに表示されるエラー メッセージを確認し、問題を解決するために適切な操作を行ってください。警報器の設定のオプションについては、13 ページの「警報器を有効にする」のセクションを参照してください。

Producer IV の操作

このセクションでは、Producer IV で ディスクを制作する場合に必要な情報を説明します。

Producer IV の電源オン

はじめる前に

システムの電源をオンにする前に、回転トレイを設置します。回転トレイの設置については、ページ 10 の「[回転トレイの設置](#)」を参照してください。

1. オートローダー背面の**電源スイッチ**を押します。Producer IV の電源がオンになります。

- Producer 6200N または 7200N、8200N を使用している場合は、**ステップ 2**に進みます。
- Producer 6200 を使用している場合、システムの電源はオンになっています。

電源スイッチ



2. オートローダー前面の**PC 電源ボタン**を押して、内蔵 PC の電源をオンにします。オートローダーと内蔵 PC の電源がオンになります。



PC 電源ボタン
(6200N、7200N、8200N のみ)

Producer IV の電源オフ

1. 開いているすべてのアプリケーションを閉じます。
 - Producer 6200 を使用している場合は、**ステップ 3**に進みます。
 - Producer 6200N または 7200N、8200N を使用している場合は、**ステップ 2**に進みます。
2. **PC 電源ボタン**を短く押します。これで、ソフトウェアおよび Windows、内蔵 PC がシャットダウンされます。

⚠ 注意: 切勿按住 PC 電源ボタンを押したままにしないでください。PC 電源ボタンを長押しすると内蔵 PC が正常にシャットダウンされません。データの損失や破損の原因になる場合があります。

注記: システムの電源がオフになるまで約 30 秒かかります。

3. メインの**電源スイッチ**を押して Producer IV の電源をオフにします。

重要! Producer 6200N または 7200N、8200N の場合、内蔵 PC の電源が完全に切断されるまでメイン電源スイッチを押さないでください。

Producer IV の一時停止

オートローダーにディスクを追加するには、Producer IV を一時停止させます。

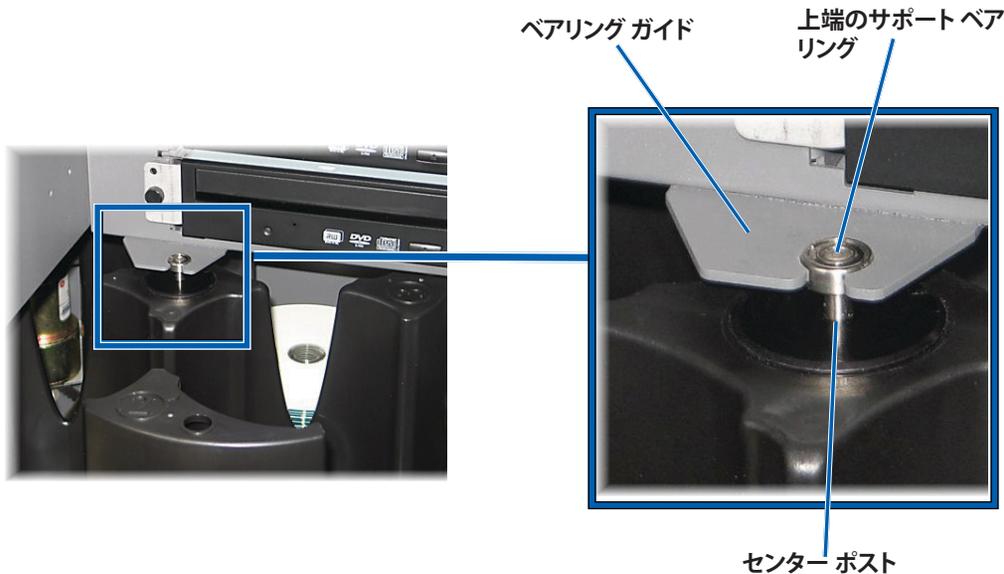
1. 操作を一時停止するには、**前面ドア**を開きます。
2. 操作を再開するには、**前面ドア**を閉じます。

Producer IV の操作

回転トレイの設置

ヒント:エラーを防止するには、ソフトウェアの操作、またはオートローダーの電源をオンにする前に回転トレイを取り付けてください。

1. 前面ドアを開きます。
2. Producer IV に**回転トレイ**を設置します。
 - a. センター ポストをベアリング ガイドの開口部に入れ、**回転トレイ**をまっすぐ滑らせます。
 - b. 上端サポート ベアリングが、下がってベアリング ガイドに納まるまで、**回転トレイ**を回します。
3. 前面ドアを閉めます。



回転トレイの取り外し

ディスクの装着や取り出しには、回転トレイをオートローダーから取り外します。

重要!現在、Rimage ソフトウェアがオートローダーを作動させている場合、回転トレイを取り外すには、ソフトウェアの動作が完了するまで待つか、またはソフトウェアの動作を一時停止します。

1. 前面ドアを開きます。
2. **回転トレイ**の底を両手でつかみます。
3. 上端のサポート ベアリングがベアリング ガイドを通過するまで、**回転トレイ**を持ち上げます。
4. **回転トレイ**をオートローダーの外側へ動かします。

ディスクの装着

ディスクは1つのビンに100枚まで装着できます。回転トレイを取り外してディスクを装着することも、以下の手順により各ビンにディスクを入れることもできます。

1. 前面ドアを開きます。
2. **オペレータ ボタン**を押し、回転トレイを回して、ディスクを装着できる位置にビンを動かします。



Producer IV の操作

- 記録および/または印刷するディスクを100枚までビンに入れます。
 - デフォルトでは、DVD ベースのシステムのビンは、次のように設定されています。
ビン 1 = CD
ビン 2 = DVD
ビン 3 = DVD-DL
ビン 4 = Output/Reject
 - デフォルトでは、Blu-ray レコーダーのシステムのビンは、次のように設定されています。
ビン 1 = CD
ビン 2 = DVD
ビン 3 = BD
ビン 4 = Output/Reject

重要!ディスクは、記録する側を下向きにして入れます。

ヒント:ソフトウェアの設定により、ビン 1 からビン 4 を、入力、出力、却下または出力/却下および特定のメディアの種類のどれかに指定できます。

- 目的のビンが一杯になるまで、**ステップ 2 から 3** を繰り返します。
- 面ドア**を閉めます。

ディスクを取り出します

- 前面ドア**を開きます。
- オペレータ ボタン**を押し、回転トレイを回して、ディスクを取り出せる位置にビンを動かします。
- ディスク**をビンから取り出します。
- 目的のビンが空になるまで、**ステップ 2 から 3** を繰り返します。
- 前面ドア**を閉めます。

印刷環境設定

印刷環境を設定すると、Producer IV で最高のディスク ラベルを作製するセットアップや実行が可能になります。それぞれの印刷環境設定の手順については、プリンタのユーザー ガイドを参照してください。

Producer IV のメンテナンス

このセクションの説明に従い、Producer IV を最適な動作状態に維持するようにしてください。

概要

Producer IV の予防メンテナンスを定期的に行うことにより、Producer IV による正常なディスク記録や美しいラベルプリントが実現できます。メンテナンスでは、システムをクリーニングします。

注記: プリンタには独自のメンテナンス要件があります。詳細はプリンタのユーザーガイドを参照してください。

注意事項

⚠ 注意: メンテナンス時に Producer IV の損傷を防ぐために、以下に注意してください。

- Producer IV のどの部分にも、オイル、シリコン、他の潤滑剤を絶対に使用しないでください。
- Producer IV の表面を拭く場合は、研磨剤入りのクリーナーを使用しないでください。
- 内蔵 PC の清掃にはクリーナーを使用しないでください。
- Producer IV に直接クリーナーを付けないでください。そのかわり、まず布にクリーナーを付けます。
- 内蔵 PC を取り扱う場合は必ず静電気感性デバイスに関する注意事項に従ってください。

予防メンテナンス スケジュール

注記: システムが貯蔵庫や倉庫など埃の多い場所で使用している場合は、より頻繁なメンテナンスを行うことをお勧めします。

はじめる前に

⚠ 警告! 内蔵 PC を取り扱う場合は、必ずオートローダの電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

1. Producer IV の電源オフ
2. 電源コードをコンセントから抜きます。

重要! 以下に説明するメンテナンスのスケジュールが守られていないと、システムへの保証が無効になる場合があります。

タスク	ツール	頻度
リフトアームのシャフトを拭きます。以下の部分に注意してください： <ul style="list-style-type: none">• シャフトの基部のまわり• リフトアームのすぐ上の部分	糸くずの出ない布	毎週
以下の部分を含め、オートローダの全表面を拭きます。 <ul style="list-style-type: none">• 側面と上端• ドア• 出力ビン• 回転トレイ• 基部 (先に回転トレイを取り外します)• リフトアームの上	糸くずの出ない布 研磨剤の入っていない万能クリーナー	毎週
オートローダの背面のファンから塵やホコリを取り除きます。	圧縮空気缶	毎月
オートローダの背面の開口部から埃や塵を取り除きます。 内蔵システムの場合のみ (6200N、7200N、8200N)、回転トレイを取り外し、PC の開口部から塵やホコリを取り除いてください。	掃除機	毎月

診断テスト

Producer IV 診断テストを実行することで、システムに関する問題のトラブルシューティングを行い、適正な動作を確保できます。診断テストのアクセス、選択、実行の詳細情報は、www.rimage.com/support またはシステムに同梱のユーザーガイドのディスクに収録されている、『Producer IV Perform Diagnostic Tests (Producer IV 診断テストの実行)』のマニュアルを参照してください。

Gemini ユーティリティの操作

Gemini ユーティリティの操作

Rimage Software Suite には、Producer IV の表示名を変更し、警報器の有効化を行うために使用する Gemini ユーティリティというアプリケーションが含まれています。

ヒント:Producer 6200N、7200N または 8200N 用の Gemini ユーティリティにアクセスするには、ネットワークに接続されたパーソナルコンピュータからリモート デスクトップ接続を使用するか、または Producer 6200N、7200N または 8200N にモニタ、マウス、キーボードを接続します。

注記:特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 7 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。

Gemini ユーティリティの開始

1. すべてのアプリケーションを閉じ、すべての Rimage サービスを終了します。

注記:詳細情報は、Rimage Software オンライン ヘルプを参照してください。

2. Windows の **[Start (スタート)]** メニューで、以下を選択します。**[All Programs (すべてのプログラム)]** > **[Rimage]** > **[Utilities (ユーティリティ)]** > **[Gemini Utilities (Gemini ユーティリティ)]** の順に選択します。Gemini ユーティリティが開きます。

注記:Gemini ユーティリティで目的の作業が完了したら、Rimage サービスを開始します。

オートローダの表示名の変更

Gemini ユーティリティを使用して、オペレータ パネルに表示される名前を入力します。

1. **[Override Name (名前の変更)]** チェックボックスをオンにします。
2. **[Use Computer Name (コンピュータ名を使用)]** チェックボックスをオフにします。
3. **[Display Name (表示名)]** フィールドに新しい名前を入力します。
4. **[Set Params (パラメータを設定)]** を選択し、名前を設定します。
5. **[Exit (終了)]** を選択して、Gemini ユーティリティ を閉じます。

警報器を有効にする

メディアがなくなった時やエラーが発生した時のビープ音の回数を変更することができます。

1. **[# of Beeps on Fault (警報数)]** フィールドで、エラー発生時に鳴らす警報の回数を選択します。

ヒント:警報器を無効にするには、警報数をゼロに設定します。

2. **[Set Params (パラメータを設定)]** を選択し、警報数を設定します。
3. **[Exit (終了)]** を選択して、Gemini ユーティリティ を閉じます。